

平成28年度 第2回島原市総合教育会議

○日 時 平成29年1月24日（火） 10:00～10:39

○場 所 雲仙復興事務所 2階会議室

○出席者

市	長	古川	隆三郎
教 育 委 員	長	松 本	正 弘
教 育 委 員		本 多	直 行
教 育 委 員		松 島	利 彦
教 育 委 員		森	み ず き
教 育	長	宮 原	照 彦

○事務局

【市長部局】

市 長 公 室 長	東 村	晃 二	総 務 部 長	本 多	敏 治
福 祉 保 健 部 長	金 子	忠 教	総 務 課 長	松 本	久 利

【教育委員会事務局】

教 育 次 長	寺 田	集 施	教 育 総 務 課 長	菅	幸 博
学 校 教 育 課 長	堀 口	達 也	社 会 教 育 課 長	松 本	恒 一
ス ポ ー ツ 課 長	浅 田	寿 啓	教 育 総 務 課 主 任	倉 本	徹 也

○次 第

- (1) 開会
- (2) 市長あいさつ
- (3) 協議・調整事項
 - ① 第2期島原市教育振興基本計画（案）について
 - ② 島原市スポーツ推進計画（案）について
- (4) 意見交換
- (5) 閉会

(1) 開会 (10:00)

総務課長	ただ今から、平成28年度第2回島原市総合教育会議を開会いたします。 開会に先立ちまして、古川市長からご挨拶をお願いいたします。
市長	<p>本日は、平成28年度、第2回目の島原市総合教育会議ということでご参集をお願いしましたところ、教育委員の皆様方には、公私とも大変お忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆様方には日頃から、学校教育、社会教育及びスポーツの振興など教育行政全般について、多大なるご尽力をいただいておりますことに対しまして、心から感謝申し上げます。</p> <p>ご承知のとおり、本会議は、平成27年4月の法改正により全ての地方公共団体に設置が義務づけられたものであり、地方公共団体の長と教育委員会が地域の教育の課題や、あるべき姿を共有し、相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進していくことが期待されています。</p> <p>本市におきましても、こうした趣旨を踏まえ、昨年3月「とことん子育てにやさしい教育のまち島原」を目指して、教育等に関する総合的な施策の基本方針となる「島原市教育大綱」を定めたところであります。</p> <p>本日の会議には、平成29年度以降5年間を計画期間として、本市教育方針の理念を具現化するアクションプランとなる「第2期島原市教育振興基本計画」及び本市の豊かなスポーツ文化の醸成を目指して、スポーツ施策を総合的に推進するための指針となる「島原市スポーツ推進計画」が提案されております。</p> <p>なお、両計画とも最終の段階であり、本日は「最終報告」と言うことでの提案となっておりますので、ご了承願いたいと思います。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、先程申し上げた2件の議題及び意見交換を含め、十分にご協議いただきまして、実りのある会議にしたいと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>以上、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくをお願いいたします。</p>
総務課長	それでは早速、協議に入りたいと思いますが、これ以降の議事進行は市長にお願いしたいと思いますので、古川市長、よろしくをお願いいたします。
市長	<p>それでは協議に入ります。</p> <p>協議・調整事項の1番「第2期島原市教育振興基本計画（案）について」を議題と致します。</p>

<p>市長</p> <p>教育総務課長</p>	<p>まずは、事務局から説明をお願いします。</p> <p>私から協議・調整事項1の第2期島原市教育振興基本計画（素案）について説明させていただきます。</p> <p>計画の説明に入ります前に、配付資料を、補足説明を加えながら、確認させていただきたいと思います。</p> <p>先ず、資料1が計画策定のスケジュールですが、これにつきましては、最後に説明させていただきます。</p> <p>次に、資料2から資料4についてであります。本計画につきましては、「教育基本法」の中で「国の教育振興基本計画を参酌し、地域の実情に応じた計画とするよう努める旨が規定されておりますので、資料3として国の同計画を、資料4として県同計画を、また、昨年度本会議で策定していただいた「本市教育大綱」、これも本計画と非常に密接な関係にありますので資料2として併せて提出させていただいております。</p> <p>以上、4部が説明用の補足資料となりますが、不足はございませんでしょうか。それでは、説明に入らせていただきます。</p> <p>先ず、提案理由についてであります。本計画は、「教育基本法」第17条第2項の規定に基づき策定するものでありまして、来年度以降平成33年度までの5年間の計画の期間として、本市教育の根幹である「教育方針」の理念を具現化するアクションプランとなるものであります。</p> <p>こうしたことを踏まえ、委員の皆様からご意見等を賜り、課題を共有し、相互の連携を図りつつ、本計画が、本市教育行政を進める上でのアクションプランとして、より一層民意を反映したものとすることを目的に、提案するものであります。</p> <p>それでは、お手元に配布しております、計画（素案）に沿って、内容概要について説明させていただきます。</p> <p>先ず、本計画の全体的な編成方針及び構成について、ご説明申し上げますので、表紙を1枚めくっていただいたところにあります、「目次」の部分をご覧ください。</p> <p>本計画の構成と致しましては、そこにお示ししているとおおり、第1章から第3章までの章立てとして3つに大別し、各章の中でさらに必要に応じて節などに細分化し、説明しております。</p> <p>第1章では、本計画策定の前提となる背景や趣旨、計画の範囲及び計画期間について言及しております。</p> <p>次に、本計画の肝となる第2章についてであります。本計画では、昨年4月（H26, 6, 20公布）に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で新たに規定された「総合教育会議」で策定された「島原市教育大綱」の目標を、施策体系の柱として編成しております。</p>
-------------------------	--

<p>教育総務課長</p>	<p>具体的には、5頁、6頁に掲載した施策体系をご覧いただきたいと思いますが、教育大綱に挙げられた「生き抜く力を育む人づくり」、「強い絆と豊かな心で結ばれた地域づくり」、「スポーツを通じた人づくり・地域づくり」及び「安全で安心な教育環境づくり」以上の4つの目標を、本計画の大きな柱として節に大別し、その下に23の努力事項を設け、さらに、これらの努力事項を達成するための主な施策として68の事業を掲げています。</p> <p>本文の中ではこの23の努力事項に沿った形で記述しておりますが、項目ごとに冒頭、現状と課題について言及したうえで、現状把握と課題認識を念頭に、具体的な対応及び取り組みについて説明するという形をとっております。</p> <p>また、先ほど申し上げた具体的取り組みのうち24事業につきましては、より実効性を持たせるため数値目標等を定めており、数値目標一覧として計画書末尾に再掲させていただきます。</p> <p>最後の第3章では、計画策定の着実な推進に向けた取り組みとして、広報紙、ホームページなど様々な媒体を活用して、広く市民への周知を図るとともに、市民の声を的確に把握し、関係各機関等と連携しながら各種施策に取り組んでいくこと。</p> <p>また、計画の進捗管理方法としては、学識経験者の所見を付した「教育委員会事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告書」の中で、本計画の進捗管理と評価を行うことなどを説明しております。</p> <p>以上で、計画の「概要及び編成方針等」についての説明を終わります。</p> <p>最後に、本計画策定のスケジュールについて説明をさせていただきます。</p> <p>資料1をご覧ください。本計画の現在までの進捗状況と致しましては、資料の中程、11月7日、総合教育会議に報告とありますが、それ以前の黒塗り部分が既に経過した部分です。</p> <p>現在、各分野から推薦された有識者で構成される検討委員会を3回開催し、審査結果を反映させていただいた「素案」の状況であります。</p> <p>今後、パブリックコメントを行いながら、最終的には、2月の定例教育委員会に上程し、ご承認いただいた後に確定となります。</p> <p>なお、決定した本計画につきましては、3月定例会、会期中の教育厚生委員会の中で委員の皆様方に説明、報告をしたいと考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>ただ今、事務局から説明がありました「第2期島原市教育振興基本計画（案）について」委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたら、出していただければと思います。何かございませんでしょうか。</p> <p>すみません、私の方から気になる点を確認させて頂いてよろしいでしょうか。第2章、島原市の教育施策の部分に「七万石の初代島原藩主の松平忠房公はうんぬん」とあるが、初代藩主の部分のみを切り取って読むと、島原藩の初代藩主が松平公という</p>

市 長	<p>風に勘違いされる恐れがあるのではないかと思います。教育委員会が作る文章なので勘違いが無いように、後々残るものなのでそこらへんはきちんとした方が良いのではないのでしょうか。</p>
社会教育課長	<p>その点については、専門家とも相談して表現を少し検討してみたいと思います。</p>
市 長	<p>はい、よろしくお願いします。他に何かご意見、ご質問等はありませんか。</p>
本 多 委 員	<p>47頁、文化財の保護の部分に「日本史に残る歴史事象として島原の乱」とありますが、正式には島原の乱ではなく「島原・天草一揆」ではないかと思いますが。</p>
社会教育課長	<p>今の点についてもきちんと調査をして、必要があれば修正したいと思います。</p>
市 長	<p>その他、何かありませんでしょうか。 これは、今日この会で正式に決定することになるのでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>今日出された意見等を踏まえて加筆修正したものを、次の定例教育委員会に議案として提案し、そこでご承認いただいた場合に正式決定となります。</p>
市 長	<p>分かりました。方針として今日出された意見を踏まえながら基本的には、この案で進めていきたいと思います。他に何か意見等はありませんか。 他にご意見、ご質問等ないようであれば、これを持ちまして本件についての協議を終わらせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>〔異議なし〕</p> <p>ありがとうございました。それでは以上を持ちまして、協議・調整事項の1番「第2期島原市教育振興基本計画（案）について」の協議を終了させていただきます。 なお、表現等細かい部分で改めた方が良いところがあれば、もう少し次の定例教育委員会まで時間があるようですので、事務局まで連絡してください。事務局におかれましては、先程委員の皆様方から出された意見、要望などを参考にされ、より良い計画にさせていただくようお願いしておきたいと思います。 それでは次に、協議事項の2番「島原市スポーツ推進計画（案）について」を議題と致します。 まずは、事務局から説明をお願いします。</p>

<p>スポーツ課長</p>	<p>島原市スポーツ推進計画（案）についてご説明申し上げます。本計画につきましては、14名の検討委員会のメンバーで昨年の8月3日に第1回検討委員会を、2回目を10月24日に、3回目を11月19日に開催して、各分野、各年齢、各層のご意見を伺いながら整理してまいりました。その間、第2回目の検討委員会終了後の検討途中の事務局案を11月7日開催の第1回のこの教育総合会議でお示したところです。第3回の検討委員会において、おおよその意見が集約できましたので、引き続き内容の調整をしながら作成を進めたところです。そして、今年1月初旬から26日までの間パブリックコメントを実施しておりますが、最終的にはパブリックコメントの意見があれば、これを集約して最終案をまとめて、2月の定例教育委員会へ議案として上程したいと思っております。</p> <p>なお、本計画は、島原市市勢振興計画、島原市教育大綱、島原市教育振興計画におけるスポーツに関する部分を具体化するものとして位置付けるものでありますので、ご了承ください。以上で説明を終わります。</p>
<p>市長</p>	<p>ただいま、事務局から説明がありました「島原市スポーツ推進計画（案）について」委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたら、出していただければと思います。何かございませんでしょうか。</p> <p>関連して私の方からいいでしょうか。少子化になってきて中学校の色々な協議会等に出席してみると部活動をするための人数が足りないという話をよく耳にするようになった。半島の大会に行ってみても野球やサッカーのチームができないとか、協議会や連盟などもあるのでなかなか難しいと思いますが、そのあたりはどうお考えですか。</p>
<p>宮原教育長</p>	<p>部活動の部員不足は各学校の大きな課題であり、中体連の大会では合同チームを編成したりして出場している例もある。文化部も含め、もともと生徒数の多い時代の部活動の数のままであり、そうなってくると学校ごとに特色を持った部活の精選なども必要になってくると思われる。生徒の多様性を生かすには、様々な部活動の種類があった方が良くと思うが、加入率もさることながら、その弊害として部員不足などの面では足を引っ張られているというのが現状ではないかと思っているところでありませう。</p>
<p>市長</p>	<p>学校教育課長はどうでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>今後の児童生徒の推移を考えた場合、小学校は今後5、6年間で100人程増えるが、中学校は逆に100人程減っていくと見込まれます。従って、今後は中学校も底をつく時が来るものと思われませんが、部活動の一定の整理は必要であると考えます。</p>

市 長	<p>他に、何かございませんでしょうか。</p> <p>〔なし〕という声あり。</p>
市 長	<p>他にご意見、ご質問等がないようであれば、これを持ちまして本件についての協議を終わらせていただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>〔異議なし〕</p>
市 長	<p>ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして、協議・調整事項の2番「島原市スポーツ推進計画（案）について」の協議を終了させていただきます。それでは、本計画につきましてもこの会議ではこの案を推薦と言いましょうか、この案の方向で教育委員会に提案していただき、委員会で決定していただくようお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、ここから「意見交換」に入らせていただきます。</p> <p>せっかくの機会でありますので「教育行政全般」あるいは「教育行政以外の分野」を含めて、教育委員の皆様方と意見交換をさせていただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>では、先ず私から一点、出生率が上昇中であり昨年は、本市では400人を超える赤ちゃんが生まれました。また、7月には久しぶりに月単位の出生数が40人を超えるという結果も出ており嬉しい限りです。保育料とか医療費の軽減対策など様々な子育て支援制度が保護者からも喜ばれていますが、私が考える子どもの増加対策というのは、ただ単に他市よりも金銭的な面で良いというのでは、バーゲンセールみたいな間違った市町同士の競争になってしまうと考えています。大切なことは、若い子育て夫婦に対しての通勤手当や住居手当などの支援の実施、子育て支援のための窓口を行きやすいようにしている。いじめ防止条例なども市長部局でも設けて、幼少連携もしっかりしているなど、総合的に子育てに取り組むことだと思っています。そういった意味から福祉保健部長、学校教育課長も出席されているが、いじめや幼少連携などで何か懸念事項はないでしょうか。子育て支援については、いつも私が福祉部の子育て部局と学校教育部局で連携を密にして取り組んで欲しいと言っているが、その点の報告を頂きたいと思いますが、いかがでしょう。</p>
学校教育課長	<p>配慮を要する子どもは実際、各学校に一定数おります。例えば父親の暴力によるもの、厳しい言動、しつけによるものなど様々あるが、その辺については子ども課と連絡を密にして取り組んでいます。教育委員会のスクールソーシャルワーカーが直接出向いて、子ども課の担当職員と意見交換を行ったりしているが、ケースがケースなの</p>

学校教育課長	<p>であり外には見えていないと思う。私は常々、問題は個人で抱え込まないで、組織で抱え込むと言う事を伝えていますが、そういう意味では連携は十分図られていると感じています。</p>
保健福祉部長	<p>子ども課内には家庭児童相談室があり、私の方に記録が回ってきますが、詳しく記述されているし、校長、教頭あたりも入ったなかでの記録がされている。また、保健師あたりも一緒になり、必要に応じて保健所や民生委員さんとも連携を図りながら取り組んでいる状況であり、そうした面では組織として横断的な連携協力体制ができていると思っている。</p>
市長	<p>兄弟が増えてくると保育園、幼稚園、小学校、中学校などそれぞれに子どもがいると言う事になっていくので、そうした横断的な連携が欠かせないと思っている。今後ともよろしくお願ひしたい。</p>
学校教育課長	<p>先程、配慮を要する子どもの話をしたが、教育委員会では5歳児検診時に指導主事を派遣して悩みがある保護者の声を早期に聞いて対応していくと言う事を念頭に置いて日常的に幼保との連携を図っています。</p>
保健福祉部長	<p>5歳児検診というのは、母子保健法では規定がなく、島原市が独自にやっている事業です。そこで発達障害の子どもとか、小さいうちはよく分からないので小学校に入学する前に早期に発見して対応出来ると言うメリットがあり、単独で取り組んでいるが非常にいい事業だと思っています。</p>
市長	<p>島原市の子育てプログラムの中に、2人目の保育料無料化、赤ちゃん支援券、医療費の支援、若者の住まいへの支援、交通費の補助、それに先ほど出た本市で独自でやっている5歳児検診とか。そういったそれぞれの事業をワンペーパーにまとめて欲しい。市民の方々は何をやっているのかよく分からないと言われるので、こういったことを教育委員会と一緒にやっていくことをお知らせしていくことが大切だと思う。</p>
松本教育委員	<p>ハードの部分はおおむね出来てきていますが、子どもと老人、幼老の連携という面はどうでしょうか。昔から年寄が育てた子どもはひねくれない、素直に育つと言われている。老人は子どもからパワーをもらい、子どもは老人から知恵をもらうというか、最近では老人が心の病気にかかっていると言う事も聞いている。そこら辺を子どもたちとタイアップして、地域で老人を育てるという風になれば島原は子育てしやすい地域だという風になるのではないかと感じている。</p>

保健福祉部長	<p>ある地域には、祖父母会というのがあると聞いたことがあります。昔からの風習や遊びなどを通して子どもと老人と一緒に活動する仕組みであり面白いなと思っています。まさに地域で育てる子育ての一つの方法ではないかと思っています。</p>
松本教育委員	<p>今空き家が多いのでその空き家を利用しても面白いと思う。最近では、声掛けをしても変質者と思われると怖いので、自分から声を掛けるのをためらってしまうという声も聴く。</p>
市長	<p>大都会ならともかく、島原のように顔の見えるぐらいの田舎でもそういったことが最近ではありますね。私も数日前、たまたま時間が空いたので3時間位歩いたが、その途中でサッカーボールを蹴りながら歩いていた子どもに声をかけたが、返答がなかった。恐らく私は不審者と思われたんだなと感じた。</p>
学校教育課長	<p>教育委員会としては、やはり子どもたちへの声掛けは行って欲しいと思っています。ただ子どもたちの受け取り方次第だが、万が一を考えると警察などの捜査機関に連絡させていただくことになるが、先程松本委員から出されたようなこともあるので困惑しています。ただ基本的には、今後も声掛けは続けて欲しいと思っています。</p>
森教育委員	<p>私は今保育園に勤務しておりよく園児を散歩に連れていきますが、その時には挨拶をするように子どもたちに言っています。防犯教室などでは「いかのおすし」という約束事も伝えており、そういうこととの兼ね合いでは難しいと感じている。散歩することで地域の方々と顔見知りになれるという良い面もあるので、声掛けはしてもらいたいと思う反面、防犯面を考えると難しい部分もあり複雑である。</p> <p>また、先程、祖父母の会の話があったが、幼稚園・保育園では今もおじいちゃん、おばあちゃんと園児が触れ合う機会を設けられているので、そういう面では島原は進んでいるのかなとも思っている。それともう一つですが、5歳児検診は非常に良い取り組みだなと思っている。3歳児検診から就学前検診までの間が非常に空いており、気になる子どもがいても保護者との関係もあってなかなか親に進言できないということがよくあった。しかし、5歳児検診があることにより子どもたちの発達についての話がしやすくなったと感じている。ただ私たち保育士は、子どもたちの普段の様子を情報として出しているが、出すだけで保健センターからはその子どもたちのその後の状況が返ってこない。保健師さんから保護者にきちんと伝わっているのか不安に感じることが多い。もっと保健師、親、保育士相互の連絡・連携体制が密になれば、5歳児検診そのものももっと有益な事業となると強く感じている。</p>
市長	<p>私はその5歳児検診というのは良く知りませんでしたが、今聞いてみると非常に良</p>

市 長	い取り組みだと思いました。ぜひ本市が行っている特徴ある子育て支援事業の一つとして外部にもPRして欲しいと思います。
本多教育委員	本市では、毎月、挨拶運動に取り組んでおられ、その際、民生児童委員さんも交通誘導などにあたられているようですが、市内全域での取り組みでしょうか。
社会教育課長	毎月一日を少年の日と位置付けて、市内全域で取り組んでいます。中心になっているのは健全育成連絡協議会のメンバーで学校の周辺で行っていますが、国道を渡って集団登校するような子どもたちがいる場合は、町内会や自治会のメンバーで道路の交通誘導も行われています。
本多教育委員	色々な形で児童生徒の安全を見守っているという面では、先程から市長が言われている地域での子育てが実践されていると言えるのではないかと思います。通常、保護者や先生が取り組んでいる例が多いが、民生委員など福祉分野の方々も一緒になって活動されているのは珍しいと思うし、島原の特徴だと感じている。
市 長	<p>熊本ではお散歩パトロールと言うのがあって、おじいちゃん、おばあちゃんが毎日やっている犬の散歩などの時間を子どもたちの登下校時に合うように時間を振り替えて行うことで、子どもたちと挨拶を交わすという活動ですが、子どもたちとのやり取りそのものが高齢者にとって楽しみでないかと思っている。</p> <p>それでは、ここでこの会を閉めさせていただきたいと思います。</p> <p>以上を持ちまして平成28年度第2回島原市総合教育会議を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。</p>
(5) 閉会 (10:39)	